

# 「有限会社東洋精機製作所様会社訪問 in ZOOM」

1月26日 於 ZOOM

株式会社佐々木工作所 佐々木 志朗

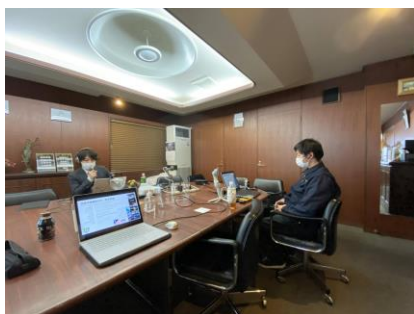
会社訪問・研修委員会では「今こそ自身に問う、なぜ、何のために」という委員会テーマのもと、1月会社訪問例会としまして、38期より新しく機青連の仲間に加わった有限会社東洋精機製作所様へ会社訪問させて頂きました。本例会ではコロナ禍での訪問になりますので、ZOOMにてオンライン上で開催いたしました。当日は21名の会員様とオブザーバー2名の皆様にご参加いただきました。

本例会は、島田副社長がお父様の経営される会社に入社されてからの2年間で、社内教育と品質管理に重点を置いて会社を改善されてきた具体的な行動と取組内容について、工場見学も交えてご説明いただき、ご参加いただいた会員様自身の『なぜ、何のために』を問うていただく機会と、今後の事業活動への変化に繋がる機会になればと開催いたしました。

1部では、工場見学と会社概要をご説明いただきました。東洋精機製作所様では、打錠機関連の部品を主に製造から組み立てまでされておられ、令和元年からは航空宇宙産業にも携わっておられます。丸物の加工を主にされておられますが、工場内には汎用旋盤、NC旋盤、汎用フライス盤、マシニングセンタ、放電加工機、平面研削盤、円筒研削盤と各種様々な機械を取りそろえての機械加工をされていました。特に「縦型NC旋盤での大物加工はお客様からの引き合いが多く弊社の強みの一つです。」とおっしゃられていました。



また工場見学中には加工機毎のリーダーの方からもお話を聞かせていただく事もあり、島田様が取組んでこられた改善活動について本音を聞かせていただく場面もありました。



2部では、一連の改善活動(分析と行動)の前提となる『改善』そのものに対する本質的な思想・価値観をもとに～何故、『改善』が『改善』足りえるのか～と題してご講演いただきました。

島田様の経験や実際の具体例を交えながら、『改善』が『改善』足りえる理由を科学的に行われているか、非科学的になっていないかを、演繹法と帰

納法の違いを用いてお話いただき、同業他社との差別化を設備の差ではなく人の差で差別化をはかり社員一人ひとりが会社を代表して、東洋品質をつくりこみ、社是『社業を通じてお客様を満足させ、感動させ、お客様から心より感謝され、尊敬される企業を目指す』を実現するための改善活動(5S+改善推進活動、社内教育、多能工化促進、独自の人事評価システムの実施、製造ネットワークシステムの構築)を行っている自社に対する思いをご講演いただきました。ご参加賜りました皆様におかれましては、大変多くの刺激、学び、気づきを得られた事かと存じます。



最後になりましたが、お忙しい中会社社訪問例会を快くお引き受け下さいました島田副社長、工場見学をお手伝いいただきました社員の皆様、誠にありがとうございました。